

災害発生 その「とき」こそ 災害 多文化パワーを

災害が起きたとき、お互いの言葉がわからないことや、お互いの制度の違い、お互いの文化的な無理解から、外国人住民と日本人住民の間にある壁が高くなり、外国人住民の孤立だけでなく、わたしたちの避難生活での混乱を招く原因になります。

**災害時にこそ、多文化共生パワーを発揮させる
これには日頃の多文化共生を鍛えることが大切です**

みなさまのニーズにお応えします

災害時対応をはじめ、多文化共生の推進のためのニーズに、幅広く対応させていただいております。

< 各種の研修メニュー >

災害時対応の研修

「災害時における外国人支援活動」

「災害時外国人サポーター養成講座」

「災害多言語支援センターの設置・運営」

「外国人住民の立場から見たボランティア活動」

「支援活動から見えた課題と今後の取り組み」

このほか、実際に避難所を設営し、避難訓練や情報提供活動などを行う体験型の訓練も行っています。

多文化共生関連の研修

「多文化共生の必要性・多文化共生の地域づくり」

「外国人住民から見た日本の地域社会」

「地域の日本語教室の運営や課題」

「外国人住民が求めるボランティアの姿とは」

「外国人スタッフに求められる役割と活動」

このほか、国際交流から多文化共生にいたる自治体施策の流れや多文化共生の企画・立案等の専門的講義も行っています。

各種、ニーズに合わせたプログラムをご提供します。

私たちの活動のご紹介



私たちは、外国人の災害時の外国人支援をはじめ、多文化共生が必要となる背景や、これからの地域に求められる多文化共生の定着に向け、各種講演や研修をご提案しています。

災害時の外国人支援活動の実例として

2011年3月11日発災当初から、「東北地方太平洋地震多言語支援センター」では、災害情報をはじめ、避難生活から復興に向けて、さまざまな情報を多言語に翻訳して、発信しました。また、多言語ホットラインによる電話相談では、きめ細やかな対応を行いました。被災地と全国各地とを結び、支援活動を展開しました。



被災地状況報告(東北地方太平洋沖地震多言語支援センターにて)

その他の多文化共生に関する研修などの実例として

詳しくは、ブログをご参照ください。

経験豊かな講師陣

経験豊かな自慢のスタッフを講師として派遣します。
自治体職員としての、多文化共生施策の企画立案・事業実施の経験、
NPO 団体スタッフとしての、市民目線での市民活動の経験、
外国人スタッフとしての、被災地における外国人支援活動の経験、
外国人住民としての、地域国際化協会の日本語教室、ボランティアコーディネーターの経験、
このほか、様々な経験を持つ「多文化共生マネージャー」を派遣します。

こんなご相談にも応じます

- ・事業企画の段階から相談したいが・・・
 - ・初めて多文化共生事業の担当になり、アドバイスがほしい
 - ・近くにいる気軽に相談できる多文化共生マネージャーは？
 - ・他の関係機関や地域の様々な団体と一緒に仕事したい。どうすればいい？
- こんな悩みを持っている方は、ぜひ、ご相談ください。

(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会 (NPO タブマネ)

〒532-0023 大阪市淀川区十三東 2-6-7 徳島ビル 2F
ホームページ: <http://tabumane.jimdo.com/>
ブログ: <http://blog.canpan.info/tabumane> (開いて見てね)
メール: tabumane.toki@gmail.com
電話: 06-6195-8890 FAX: 06-6195-8812

タブマネ妹の
ときです。
気軽にご連絡
くださいませ

